



# 神戸製鋼ラグビー部BLOG

< 2009年02月 >

S	M	T	W	T	F	S
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

カテゴリ

## 最近の記事

- [2008-2009シーズン、終了 \(2/12\) 初のプレーオフ進出決定! \(2/5\)](#)
- [2009年初ゲーム vsサントリーサンゴリアス戦 \(2/4\) 12月21日に、ホームズスタジアム神戸にかまど隊、参上! \(1/5\) トップリーグも残り3試合! \(12/31\) リポビタンDチャレンジ 2008 日本代表vsアメリカ代表 \(12/5\) トップリーグ前半戦終了 \(12/2\) 5試合を終えて、3位浮上! \(10/24\) 間接戦を白星スタート! \(9/22\) 後藤翔太主将インタビュー \(9/3\)](#)

## 過去記事

- [2009年02月](#)
- [2009年01月](#)
- [2008年12月](#)
- [2008年10月](#)
- [2008年09月](#)
- [2008年08月](#)
- [2008年07月](#)
- [2008年05月](#)

## 最近のコメント

- 秋山古兵 / トップリーグも残り3試合!
- しよーちゃん / リポビタンDチャレンジ2008 ...
- 秋山古兵 / 5試合を終えて、3位浮上!
- 旬 / 間接戦を白星スタート!

## 最近のトラバ

## お気に入り

## ブログ内検索



## QRコード



RSS1.0 | RSS2.0

## アクセスカウンタ

Total: 11506  
 Today: 7  
 Yesterday: 8

## 読者登録

メールアドレスを入力して登録する事で、このブログの最新エントリーをメールでお届けいたします。解除は[こちら](#)



現在の読者数 2人

## プロフィール

コベルコスティーラーズ

## オーナーメッセージ



## 2009年02月12日

### 2008-2009シーズン、終了

2月1日から始まったプレーオフ・ナメントマイクロソフトカップ準決勝。コベルコスティーラーズはトップリーグ1位通過の東芝ブレイブルーパスと対戦し、7-26で完敗。さらにその後の7日に行われた日本選手権大会1回戦では、リーグ5位のNECグリーンロケッツを相手に惜しくも29-30で敗れ、2008-2009シーズンの全日程を終了した。

### チームの成長に手応えを感じた今シーズン

「アタックにしろディフェンスにしろ、後少しのところまで来ている」。プレーオフ・ナメントマイクロソフトカップ準決勝vs東芝戦終了後、平尾誠二GM兼総監督はこう語った。リーグ戦12勝1敗の東芝に、唯一、土をつけたコベルコスティーラーズは、プレーオフ・ナメントでも勝利をと意気込み、試合会場の秩父宮ラグビー場に乗り込んだ。しかし、東芝の力強い攻撃を前に、試合は防戦一方。コベルコスティーラーズは懸命のディフェンスでゴールラインを死守するが、ミス等からトライを奪われ、後半30分すぎまで0-26。それでも後半33分には、ベテラン伊藤剛臣選手の突破から、WTB小笠原仁選手へと繋ぎ、意地のトライを見せるなど、昨季には見られなかった「粘り」が見られた。

次なるステージとなった日本選手権大会は、負ければシーズン終了となる1戦必勝のトーナメント方式。5シーズンぶりに同大会に出場を果たしたコベルコスティーラーズは、プレーオフ・ナメントマイクロソフトカップ準決勝から中5日で、花園ラグビー場にて1回戦NECグリーンロケッツと対戦した。試合は開始早々、コベルコスティーラーズがFW・BK一体となった連続攻撃で先制。しかしながら、NECも元日本代表キャプテン・箕内選手や山本選手が代表キャプテン・ラウ選手を中心とした攻撃を仕掛けトライを奪うなど、シーズンゲームの様相を呈した。その緊迫を破ったのは後半36分。29-27。コベルコスティーラーズのリードはわずか2点。コベルコスティーラーズファンが打ち振るチームフラッグで真っ赤に染まったスタンドが固唾を飲みながら見守る中、NECのFB松尾選手が蹴ったボールが放物線を描き、ゴールポストに吸い込まれていった。ドロップボール成功。29-30。残り4分、コベルコスティーラーズの選手たちは必死に逆転を目指す。無情にもノーサイドの笛が鳴り響いた。試合終了後、平尾GM兼総監督は「ゲームマネジメントの部分で不足していた。しかしながらプレーオフや日本選手権大会に出れたことが収穫」とまとめた。

今シーズンは、春から食生活に着目し、食とウエイトトレーニングの相乗効果で、肉体的改造を行ったコベルコスティーラーズ。その結果、トップリーグのリーグ戦で、選手たちは強いタックルを運搬し、スクラムや接点でも決して負けることがなかった。その成果が初のプレーオフ、5シーズンぶりの日本選手権大会進出に繋がった。「これでも食の部分を含めフィジカルの強化は継続しつつ、さらに今シーズンの課題として出たゲームマネジメントの部分やいかに効率よく得点を獲るかという部分を詰めてやっていきたい」と話す平尾GM兼総監督。

2008-2009シーズンの挑戦は終わったが、コベルコスティーラーズはこれからも頂点を目指し、進出し続ける。

Posted by コベルコスティーラーズ at 13:12 | Comments(0) | TrackBack(0)

## 2009年02月05日

### 初のプレーオフ進出決定!

リーグ戦上位4チームが競うプレーオフ進出を賭けた六・一番、トップリーグ第13節(最終節)vsヤマハ発動機ジュビロ戦がホームズスタジアム神戸で行われた。コベルコスティーラーズはこの試合を制し、初のプレーオフ・ナメントマイクロソフトカップ進出を決めた。頂点を目指し、コベルコスティーラーズは次なるステージへと進む。

### 地元・神戸で決めたプレーオフ進出



1月11日(日)に地元・神戸で行われた前節の横河武蔵野アトラスターズ戦で58-12と圧勝!プレーオフ・ナメント進出に向けてマッシュ「1」となったコベルコスティーラーズが1月18日(日)、同じく勝てばプレーオフ出場の可能性があるヤマハ発動機ジュビロと対戦。今シーズン関西最多入場数の約1万4000人の観客が見守る中、ゲームはキックの応酬ではじまった。その後、ヤマハのオフサイドで、コベルコスティーラーズがペナルティゴール(PG)を選択。ティナル・デルポルト選手が決めて、まずは3-0で先制。さらにPGで得点を追加し、このままコベルコスティーラーズのペースで試合は展開するかに思えたが、22分、27分とミスからヤマハにトライを献上。6-10で前半を終えた。



「(トライを)獲られたのは僕のくどらないミスからですし、後半に向けて、引きずるものは何もなかったです。逆にチームの中で『このプレーをしよう!』という意思統一ができて、頭がクリアな状態で臨めた」と後藤翔太主将が話そう。後半開始早々、平島久昭選手がトライを決め逆転。後半38分まで、わずか6点リードという接戦だったが、FW、BKともに身体を張ったディフェンスでゴールラインを死守。最後は、ルーキーの山下裕史選手がダメ押ししトライを決め、23-10でノーサイド。肩を抱き合い歓喜に湧く選手たち、そして応援フラッグで真っ赤に染まったスタンド。地元・神戸でコベルコスティーラーズが見事、初のプレーオフ進出の切符を手に入れた瞬間だった。

「久しぶりにベスト4(03-04年度以来/プレーオフ制誕生以来初めて)進出の権利をいただいて、うれしいですね。選手はよくやりました」と昨シーズンよりチームを指揮する平尾誠二GM兼総監督も顔をほころばせた。後藤主将も「ようやく次の舞台に立てます!」とコメント。



### 新たな歴史の一步を踏み出した

昨シーズンは、三洋電機ワイルドナイツ、東芝ブレイブルーパス、サントリーサンゴリアス、トヨタ自動車ヴェルブリッツと上位4チームに大敗を喫し5位。「フィジカルの弱さ」を痛感した。肉体的強化が春からのチームのテーマとなった。そのために取り組んだのが、まず食生活の改善。管理栄養士が提案する栄養バランスの取れた食事やトレーニング後におにぎりやバナナを食べるなど、選手たちの食に対する意識を高めた。さらに専門のコーチを招き、ウエイトトレーニングにも取り組んだ。結果、後藤主将をはじめ多くの選手たちが増量に成功し、強い肉体的を手に入れた。

今シーズン、選手たちは口を揃えて言う。「身体が大きくなり、ディフェンスでもアタックでも当たり負けしない」と。

その成果が「プレーオフ進出」という結果に見事、結びついた。かつてV7という偉業を成し遂げたコベルコスティーラーズ。新たな栄光に向け、復活の狼煙は今、上がったばかりだ。

タグ: [トップリーグ](#) [マイクロソフトカップ](#) [プレーオフ進出](#) [おにぎり](#) [管理栄養士](#)

Posted by コベルコスティーラーズ at 19:37 | Comments(0) | TrackBack(0)

## 2009年02月04日

### 2009年初ゲーム vsサントリーサンゴリアス戦

2009年1月3日(土)、新しい年を迎え初めて行われたトップリーグ第11節vsサントリーサンゴリアス戦。この試合に勝てばプレーオフ進出に向けて大きく前進するコベルコスティーラーズだったが、結果は3-67で思わぬ大敗を喫した。「次ぎのステージでこの借りを返したい」。そう話す後藤翔太主将。コベルコスティーラーズはプレーオフ進出を賭け、残り2試合全勝を誓う!

### プレーオフでリベンジだ!



「力でもやられたというのではなく、ラグビーのゲームの部分でうまくやられてしまった」。サントリーサンゴリアスとの一戦で、3-67と大差で敗れたコベルコスティーラーズ。試合後の記者会見で後藤翔太主将はひと言こう話した。前半9分、まずはサントリーペナルティゴール(PG)で先制。さらに前半22分、トライを許すも、コベルコスティーラーズもボールを展開し、ゲインラインの突破を図る。しかし、サントリーの黄色の壁がそれを阻む。息詰まる攻防が繰り返されるも、攻めきれないコベルコスティーラーズ。逆に、カウンターアタックで得点を重ねるサントリー。会場にいるコベルコスティーラーズファンからは根拠となくため息ももれた。前半終了間際にも、追加得点を許し、3-24で折り返し。後半に入り、ロイス・ウィリス選手、小笠原仁選手に突っ走り、コベルコスティーラーズの元氣印・伊藤剛臣選手、ビエール・ホラ選手がピッチに。爆発力のある両選手の登場で、巻き返しが大いに期待されたが、昨シーズン、プレーオフ・ナメントの覇者・サントリーサンゴリアスの前に、力及ばず、白星を喫した。



後藤主将は「今日の試合はストレートの打ち合いで負けたというのではなく、ジャブやフックにやられたという感じで、サントリーさんのラグビーのそれがうまくいった」とコメント。平尾GM兼総監督も「うちはテグハグな攻撃をしてしまいました。それに対し、サントリーさんはうまく攻めてきたなという印象。力で負けているとは思いませんので、また立て直していきたい」と試合の感想を語った。

「リーグ戦で敗れたことが救いです。今回、負けたことを糧にして、プレーオフや日本選手権大会で、サントリーさんにこの借りを返したいと思います」と後藤主将。

現在コベルコスティーラーズは4位。三洋電機ワイルドナイツ、東芝ブレイブルーパス、サントリーサンゴリアスは、最終節を待たずしてプレーオフ出場の特典を得た。残りのイスはわずか1つ!コベルコスティーラーズは、プレーオフ進出に向け、残り2試合全力を尽くす!



Posted by コベルコスティーラーズ at 18:31 | Comments(0) | TrackBack(0)

[このページのトップへ▲](#)